

計 画 書  
 中部広域都市計画用途地域の変更(うるま市決定)  
 名称: 与那城・勝連地区  
 (建ぺい率・容積率の変更)

都市計画用途地域を次のように変更する。

種 類	面 積	建築物の容積率	建築物の建ぺい率	外壁の後退距離の限度	建築物の敷地面積の最低限度	建築物の高さの限度	備考
第一種低層住居専用地域	約 0 ha	6/10以下	3/10以下	—	—	10m	
	約 0 ha	8/10以下	4/10以下	—	—	10m	
	約 559 ha	10/10以下	5/10以下	—	—	10m	
小計	約 559 ha						26.8%
第二種低層住居専用地域	約 0 ha	—	—	—	—	—	
小計	約 0 ha						0.0%
第一種中高層住居専用地域	約 0 ha	15/10以下	6/10以下	—	—	—	
	約 482 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 482 ha						23.2%
第二種中高層住居専用地域	約 0 ha	15/10以下	6/10以下	—	—	—	
	約 40 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 40 ha						1.9%
第一種住居地域	約 227 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 227 ha						10.9%
第二種住居地域	約 87 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 87 ha						4.2%
準住居地域	約 84 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 84 ha						4.0%
田園住居地域	約 0 ha	—	—	—	—	—	
小計	約 0 ha						0.0%
近隣商業地域	約 55 ha	20/10以下	8/10以下	—	—	—	
	約 30 ha	30/10以下	8/10以下	—	—	—	
小計	約 84 ha						4.1%
商業地域	約 43 ha	40/10以下	8/10以下	—	—	—	
小計	約 43 ha						2.1%
準工業地域	約 3.7 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 3.7 ha						0.2%
工業地域	約 230 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 230 ha						11.0%
工業専用地域	約 242 ha	20/10以下	6/10以下	—	—	—	
小計	約 242 ha						11.6%
合計	約 2083 ha						100.0%

※端数整理のため、内訳の和は必ずしも一致しない。

「種類、位置及び区域は計画図表示のとおり」

理由 本市の密度構成(建ぺい率および容積率)については、旧市町で指定した用途地域に依っており、同じ用途でも地域によって密度構成が異なり、本市の土地利用に不均衡が生じている。市域全体での均衡を取りつつ計画的な土地利用を図り、良好な住環境の維持・形成を推進することから、第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域の密度構成を統一する。